

**FX**初心者が**FX**でこんな  
稼げた超シンプル手法  
限定公開

---

シンプルで稼げる  
簡単手法極秘公開

---

# 1. FXはこれほどシンプルな手法で十分

FX取引でより儲かるようなルール手法を編み出そうとすると、多くの人らは高度で複雑なテクニカル分析こそ収益力が高まる方法であると考えたろう。

しかし、シンプルなものが一番ベストではないかと私は考える。

シンプルな手法とは、ローソク足とテクニカル分析で指標を1つ程度くらいしか使わず、しかもエントリー・エグジットの基準がとてもわかりやすいものを指す。



ローソク足というと、ただチャート上の値動きを表す四角い箱というイメージを持っている人は多いのではないだろうか。

そして、ローソク足は何の役にも立たない存在であると思うだろう。

また、テクニカル指標を1つだけ使ってしまうと、制度がきわめて悪くなり、こちらも利益を得ることに対して何の活躍もしないだろうと想像するのではないだろうか。

どちらも間違った考えである。

確かに、ローソク足単体やテクニカル指標単体でFX取引に臨んでしまうと、収益が伸びないだろう。  
しかし、その2つをただ組み合わせるだけで、収益が伸びて儲かる可能性を格段にアップさせることができる。

## ・ローソク足＋移動平均線

ローソク足とは、単なる値動きを表す四角い箱ではない。  
値動きの方向（買いor売り）とその値動きの大きさを1つの箱で表す指標だ。  
縦に長ければ長いほど短時間で大きく値動きが起こったことを示す。

ローソク足が数個並んでいるだけで、相場が一方向的なトレンドに入っているのか、それとももみ合いが起きているのかが視覚的にわかる。

図の場合、赤のローソク足が4, 5つ並んでいるのであれば、それは上昇トレンドに入っていることを示す。  
逆に青のローソク足が並んでいるのであれば下降トレンドというわけだ。  
赤と青が入れ混じっているのであれば、それはもみあい状況となっているといえる。

移動平均線は、サポート&レジスタンスの役割を果たす場合が多い。  
上昇トレンド発生時には、移動平均線が一時的な下落の下限となる例がよくある。  
下降トレンド時ならその反対だ。

今回紹介するシンプルな手法は、これらの性質を持ったローソク足と移動平均線を組み合わせたルールである。

移動平均線については、100本といった長期的な数値に設定するのが好ましい。



図1



図2

## ・ シンプルな手法（買いの場合）

1. 日足チャートで長期的な上昇トレンドの方向になっているか
2. 4時間足で上昇トレンドの方向になっているか
3. とともに一致しているなら、移動平均線をサポートラインとする
4. 移動平均線へ接近した後、赤色のローソク足が現れているなら

「買い」方向でエントリー

まず、日足チャートで長期的なトレンドの方向を確認する。

移動平均線MA（100）が上昇方向になっていて、ローソク足のほとんどが移動平均線の上にあるのであれば、それは上昇トレンドになっていることを表す。

逆に右下を向いていて、ローソク足の多くが線の下に位置するのであれば、それは下降トレンドであるということになる。

次に4時間足チャートを確認する。

この場合も、図2が図1と同じ方向を向いているように、日足の場合と同じようなトレンドになっているのであれば、いよいよエントリーのタイミングを決める手順に移る。

もし、2つの複数の異なる時間足で違った方向を向いていたり、どちらか一方でレンジ相場になっているのであれば、エントリーを断念するのが好ましい。

あくまでも、ともに一致した場合に限る。

一致していることが確認できたら、あとは「押し目買い」という手法を使っているだけである。

上昇トレンドの場合、一時的に価格が下落して移動平均線MA（100）に接触したら、あとはローソク足の形を見るだけだ。

そして、ローソク足が接触後に再び買い方向に動いていることを示す色に変わり、移動平均線前後で下落方向への勢いが止まったら、直ちに「買い」で成行注文を発注する。

これで、エントリーの手順は終わりである。

## 2. コマ足（平均足）

トレードをする上で必須なのがチャートであり、テクニカル分析です。

まずは、初心者が最短で結果を出せるように、節目とコマ足（平均足）を使った分析手法をご紹介します。

### ・コマ足（平均足）とは？

コマ足とは、ローソク足の実体部分の上辺と下辺に「平均値」を採用したもので人気の理由は、なんといっても売買シグナルが非常に分かりやすい点にあるといえるでしょう。

このテクニカルの良いところは、見た目に分かりやすくトレンドが一定期間続くところで、初心者にはお勧めです。

ただし、どのテクニカルも同様ですが、ダマシのシグナルが発生するところは注意が必要です。

あとは、当然ですがトレンドがローソク足より遅れて発生しますのでレンジ相場に弱いところです。

このテクニカルの売買シグナルは、2本以上の陽線または陰線が続いた後に逆の線が完成した場合にシグナルとなります。  
コマ足の線がどのくらいの値段で陰陽が転換するか前もって分かればトレードのポイントとなります。

次のページにコマ足チャートを載せましたが、ダマシはたまにあるものの、チャート上で売り買いシグナルについては確認しやすく、トレンドも掴みやすいことからFX初心者でも活用しやすいと思います。

テクニカル分析は何から始めようか？と思っている人は、まずこのコマ足からスタートするのも良いと思います。



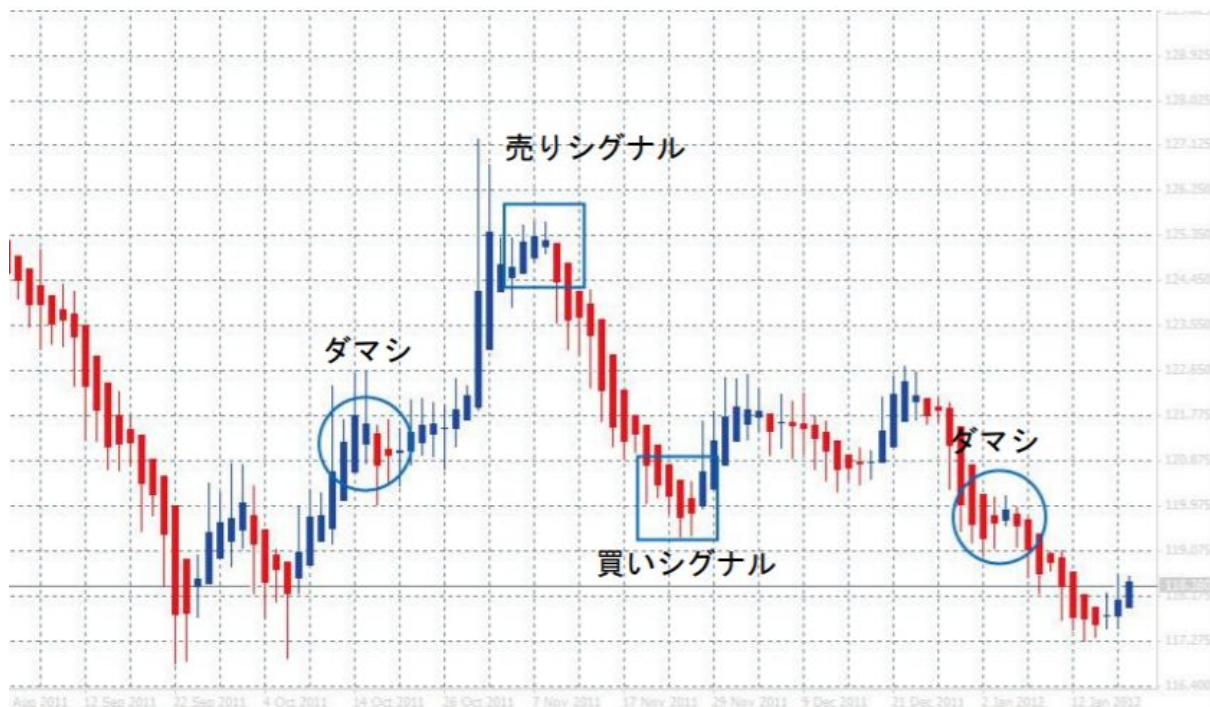


図1：ポンド円日足（平均足）

さらに、コマ足には「ダマシを付ければ埋めにいく」という法則があります。

これはダマシを付けて相場が上下してもその後はその値位置まで戻ってくるものです。

ダマシを付けたからと言って悲観するのではなく、逆に攻めるチャンスになります。

## ・コマ足とローソク足の違い

ローソク足は「ある期間の始値・高値・安値・終値」という4本値を1本の足で示したものに対して、コマ足はA「1本前の始値・終値の平均」、B「期間中の始値・高値・安値・終値(現在値の平均)」の2つがローソク足の胴体部分になります。

BがAを上回っていれば陽線、下回っていれば陰線になります。上下のヒゲはローソク足と同じで高値・安値を表しています。



しかし、コマ足の場合は上ヒゲが長い陽線が続いたり、下ヒゲ強い陰線が続いたりします。

この場合は「長い上ヒゲ=高値更新で上昇力が強い」「長い下ヒゲ=安値更新で下降力が強い」として理解して取引をすることが有効になります。

## ・スキャルやデイトレよりスウィングに向いている

月足、週足といった長期スパンでも、5分足、10分足といった超短期スパンでもきれいにトレンドの転換と継続をとらえることができます。

移動平均線のゴールデンクロス・デッドクロスやトレンドラインのブレイクなどに比べても反応が早く、トレンド転換のポイントをいち早くとらえられる点も魅力です。

陽線や陰線が連続すればするほど収益が増えることを考えると、細かい上下動を狙うスキャルやデイトレードよりも、ある程度長い間トレンドが持続するスイングトレードで使うほうが効果的でしょう。

## ・コマ足と相性が良い通貨ペア

コマ足はトレンドがわかりやすいテクニカル分析法であるため、できれば値動きがある通貨ペアで運用するほうが望ましいと思います。

ポンド円やユーロドルなど方向感が出やすい通貨ペアがおすすめできます。ドル円でトレードをしても有効ではありますが、東京時間で値動きが少ない時であればダマシが連発される時もありますので、短時間で数pipsを取りに行くスキャルは適さないと思います。

もちろん、これはベーシックなコマ足の使い方なので、自分でどんどん研究を深めていけば様々な活用法は見出されていくと思います。

FX初心者でこれから勉強しようという人であればドル円で運用する場合はデイトレやスウィングなど比較的にポジションを持って利を伸ばすやり方で活用されることがおすすめです。

## ・かんたんスキャルピング

FX初心者でも活用できるお手軽なスキャルピングの方法を紹介したいと思います。

誰でもできるのでぜひチャレンジしてみてください。

準備として、1分足や5分足のチャートに順張り系の指標、たとえば移動平均やコマ足などを表示させます。

スキャルピング基本は、「順張り」とも言われています。

この順張り系の指標があった方がトレードをしやすいです。

これを踏まえて今回紹介する方法は、

ズバリ!

**「1分足で前回高値を抜いた時に買う、安値を抜いた時に売る」**

よく言われるブレイクアウトの手法です。拍子抜けするような手法かもしれませんが、かなり有効な手法です。



ポンド円 1分足チャート

某10時から13時の3時間程度ですが売り買い合わせて、6回のトレードが可能でした。

実際に検証・運用もしましたが勝率も8割以上で、大体3~10pくらいは取れそうです。

2014/1/27 14:44	GBP/JPY	買	169.211	57	173.024	37	Y 買	172.16	46
2014/1/27 13:35	GBP/JPY	買	169.051	54	173.107	16	Y 買	172.063	25
2014/1/27 11:32	GBP/JPY	買	168.769	118	173.07	223	Y 売	171.959	76
2014/1/27 9:48	GBP/JPY	買	168.653	98	173.213	235	Y 売	171.921	19
2014/1/27 9:13	GBP/JPY	買	168.731	6	-271	63	Y 買	172.025	23
2014/1/27 8:57	GBP/JPY	買	168.286	60	-48	-2239	Y 買	172.015	15
2014/1/24 23:11	GBP/JPY	買	169.305	49	26	-600	37	171.94	72
2014/1/24 21:04	GBP/JPY	買	169.945	38	61	229	47	801	93
2014/1/24 21:01	GBP/JPY	買	169.863	47	6	32	15	149	723
2014/1/24 21:01	GBP/JPY	買	169.863	-93	75	21	85	11	53
2014/1/24 20:34	EUR/USD	買	1.37206	81	24	16	15	20	41
2014/1/24 20:28	GBP/JPY	買	169.646	184	15	26	82	33	46
2014/1/24 20:17	GBP/JPY	買	170.018	40	64	18	71	51	55
2014/1/24 20:16	GBP/JPY	買	170.003	45	49	38	51	134	42
2014/1/24 18:59	GBP/JPY	買	171.028	33	20	13	707	-372	35
2014/1/24 18:10	GBP/JPY	買	171.21	133	71	12	56	34	63
2014/1/24 18:01	GBP/JPY	買	171.274	70	8	30	74	50	58
2014/1/24 17:54	GBP/JPY	買	171.272	186	115	53	91	26	93
2014/1/24 17:34	GBP/JPY	買	171.666	64	104	37	86	45	96
2014/1/24 17:20	GBP/JPY	買	172.019	35	52	69	84	35	63
2014/1/24 14:32	GBP/JPY	買	171.697	37	37	15	69	16	29
2014/1/24 14:23	GBP/JPY	買	171.682	39	23	33	38	18	09
2014/1/24 9:32	EUR/USD	買	1.36881	-254	25	86	95	29	55
2014/1/24 9:22	GBP/JPY	買	172.018	30	50	44	82	23	34
2014/1/24 8:48	GBP/JPY	買	171.968	56	27	-134	31	75	303
2014/1/24 7:38	EUR/USD	買	1.36913	27	-382	-138	34	94	13
2014/1/24 5:39	EUR/USD	売	1.36939	10	35	84	93	-80	223
2014/1/24 5:25	EUR/USD	売	1.36918	-49	20	-440	59	20	81
2014/1/24 5:17	GBP/JPY	買	171.326	240	25	46	36	23	72
2014/1/24 5:06	GBP/JPY	買	171.606	343	132	32	17	30	13
2014/1/23 12:46	GBP/JPY	買	172.951	30	41	172.297	35	34	19
2014/1/23 12:41	GBP/JPY	買	172.944	61	30	171.896	94	34	37
2014/1/23 12:39	GBP/JPY	買	172.988	26	61	171.853	32	13	34
2014/1/21 21:23	GBP/JPY	買			26	171.761	-197		23
2014/1/21 21:06	GBP/JPY	買				171.777	-575		
						171.663	69		

上記の成績は、実際に私がスキャルピングで取引した成績です。

負けもありますが137勝17敗で勝率88%で2000pips以上取ることができました。（大体1週間程度の期間です）スキャルピングの基本は薄利の積み重ねですから損を大きくすれば何をやってるか分からないです。

一回の損切りでその日の利益が全部吹っ飛ぶということになりかねませんから損切りルールもしっかりと運用する必要があります。今回ですと5~10p以内に抑えなければいけません。

自分の取引ルールを守りながらコツコツとトレードをすれば利益も積み重なって安定的な成績となるのではないかと思います。

注意すべきは何度も言いますが、1回の負けを大きくしないことです。損切りルールをしっかりと決めてコツコツドカーンにならないようにすることが大事です。